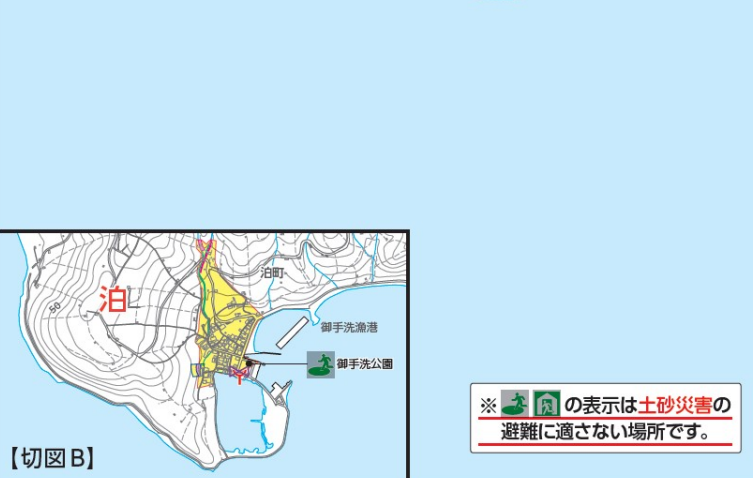
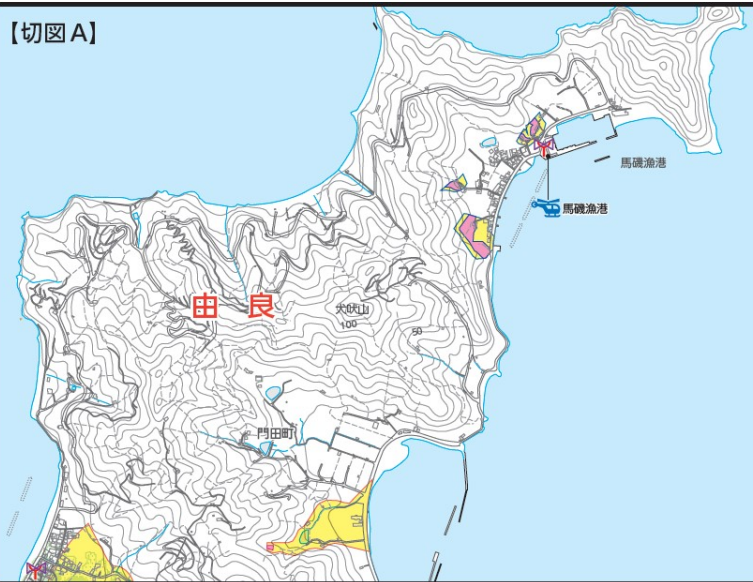
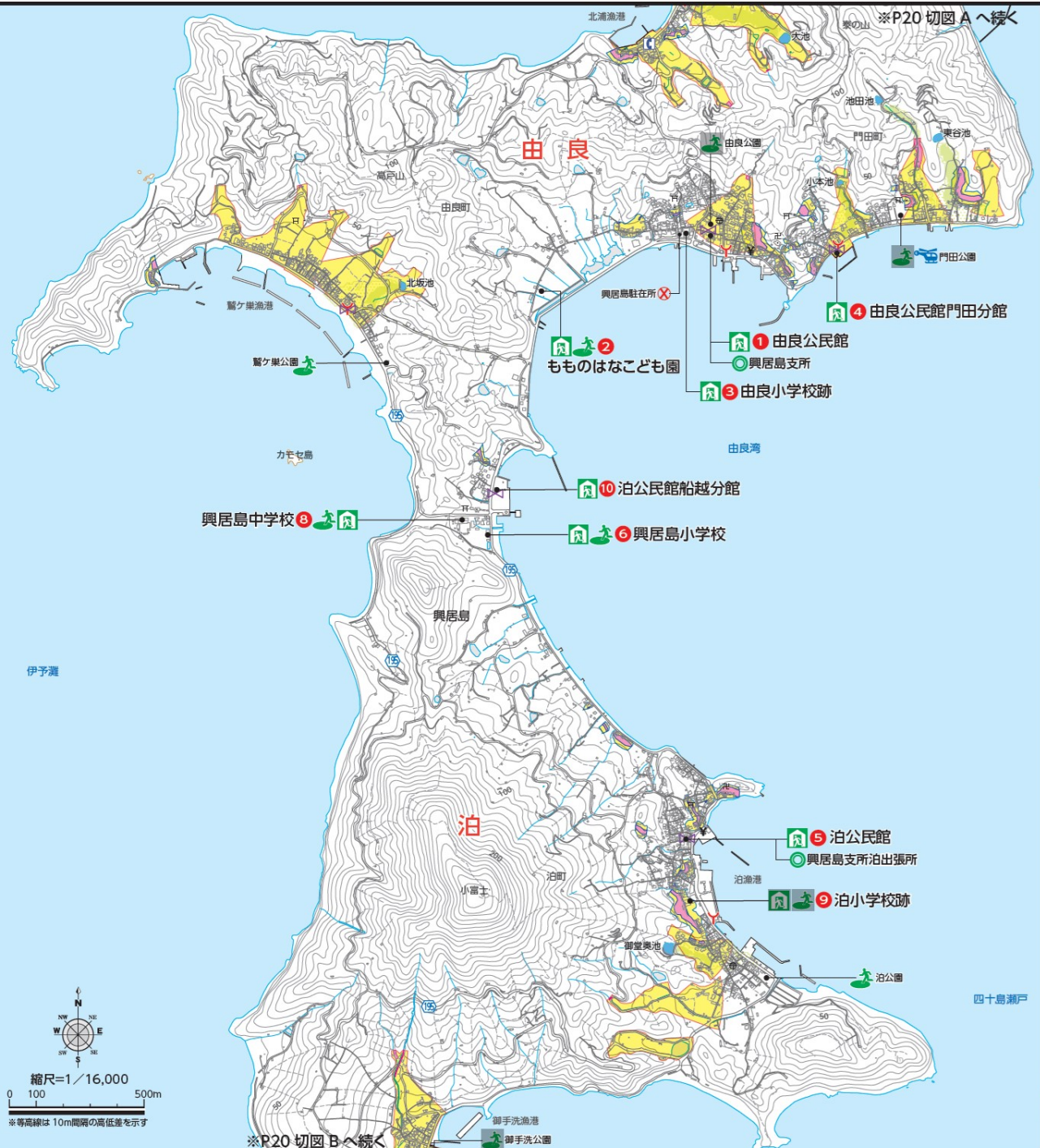


【切図A】



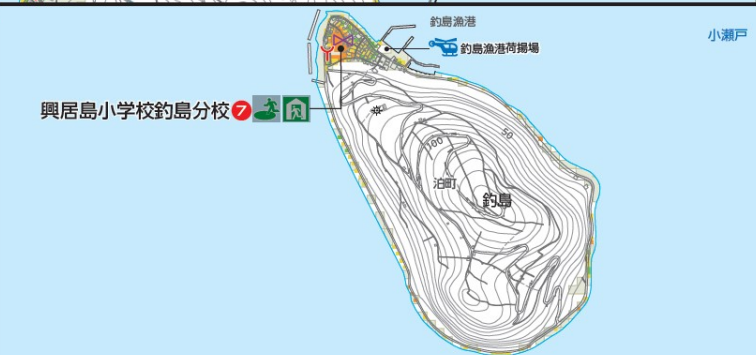
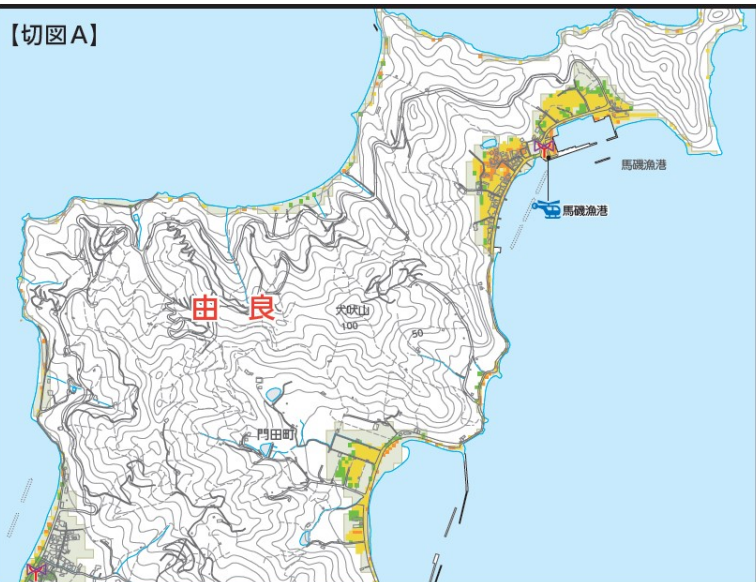
【切図B】

※ の表示は土砂災害の避難に適さない場所です。



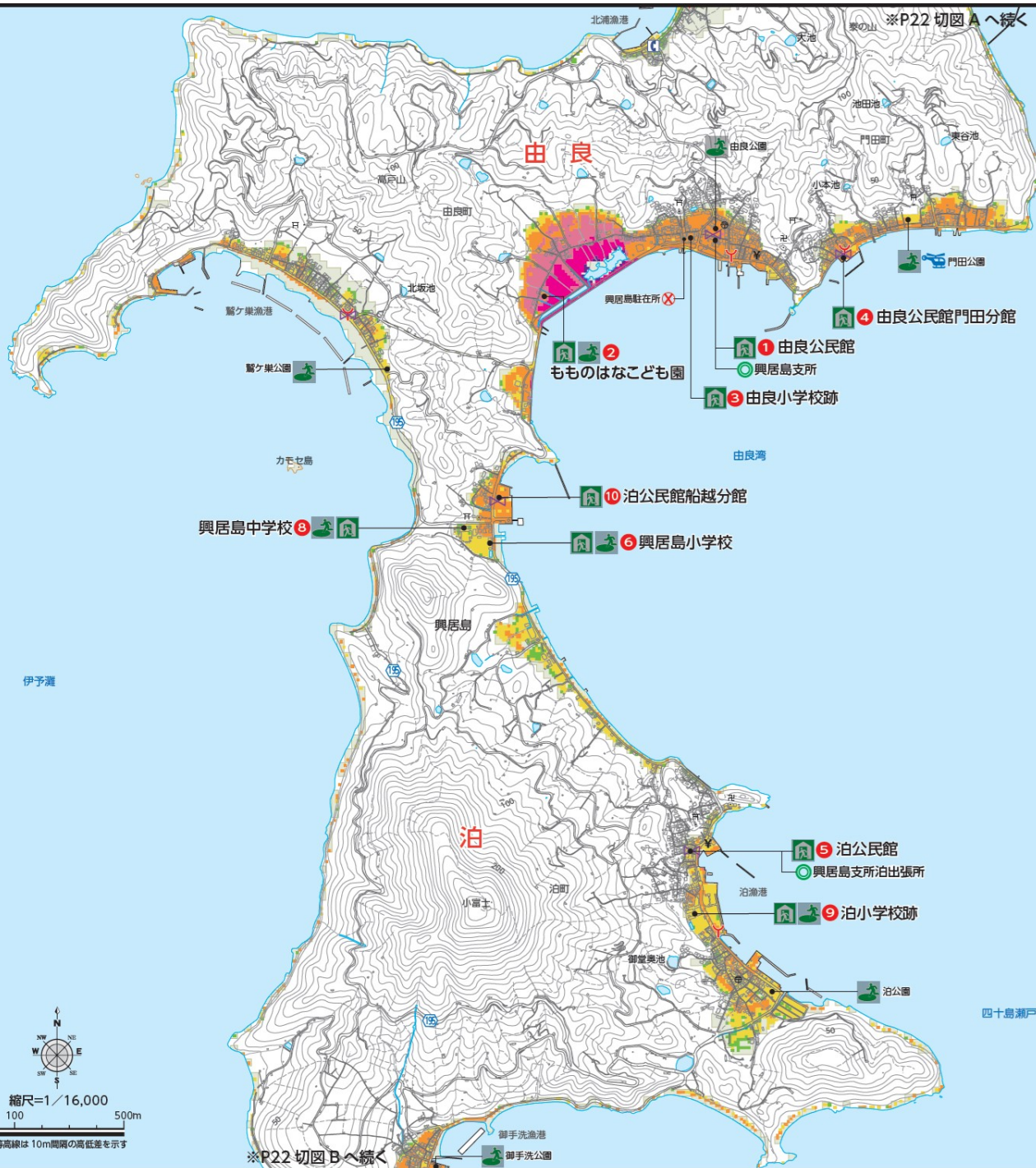
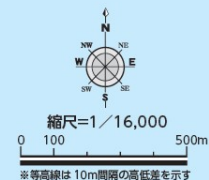
※P20 切図Bへ続く

【切図A】



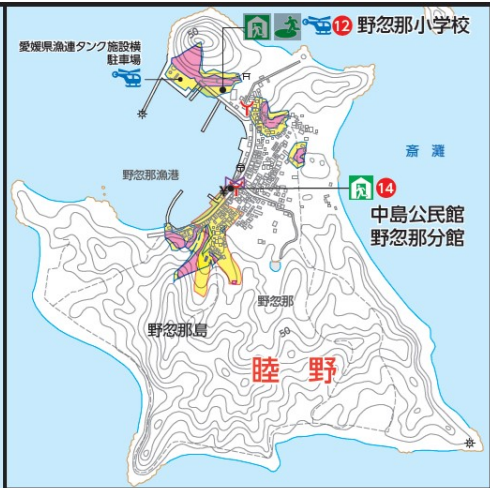
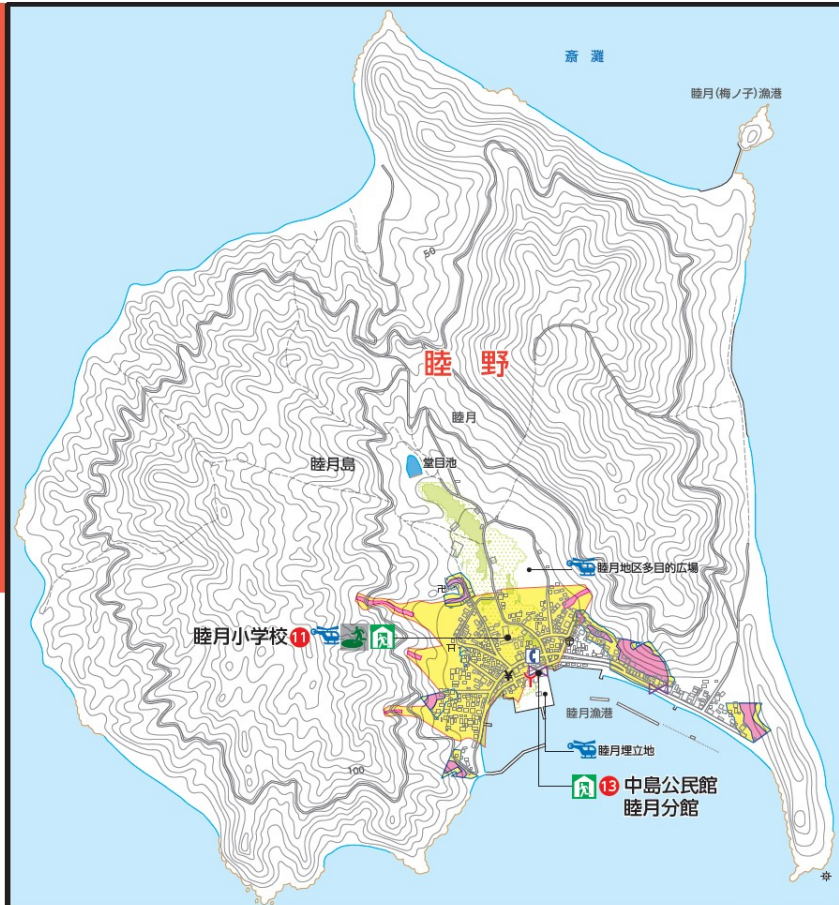
【切図B】

※の表示は津波の避難に適さない場所です。

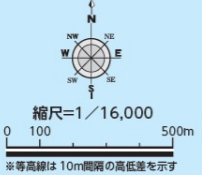


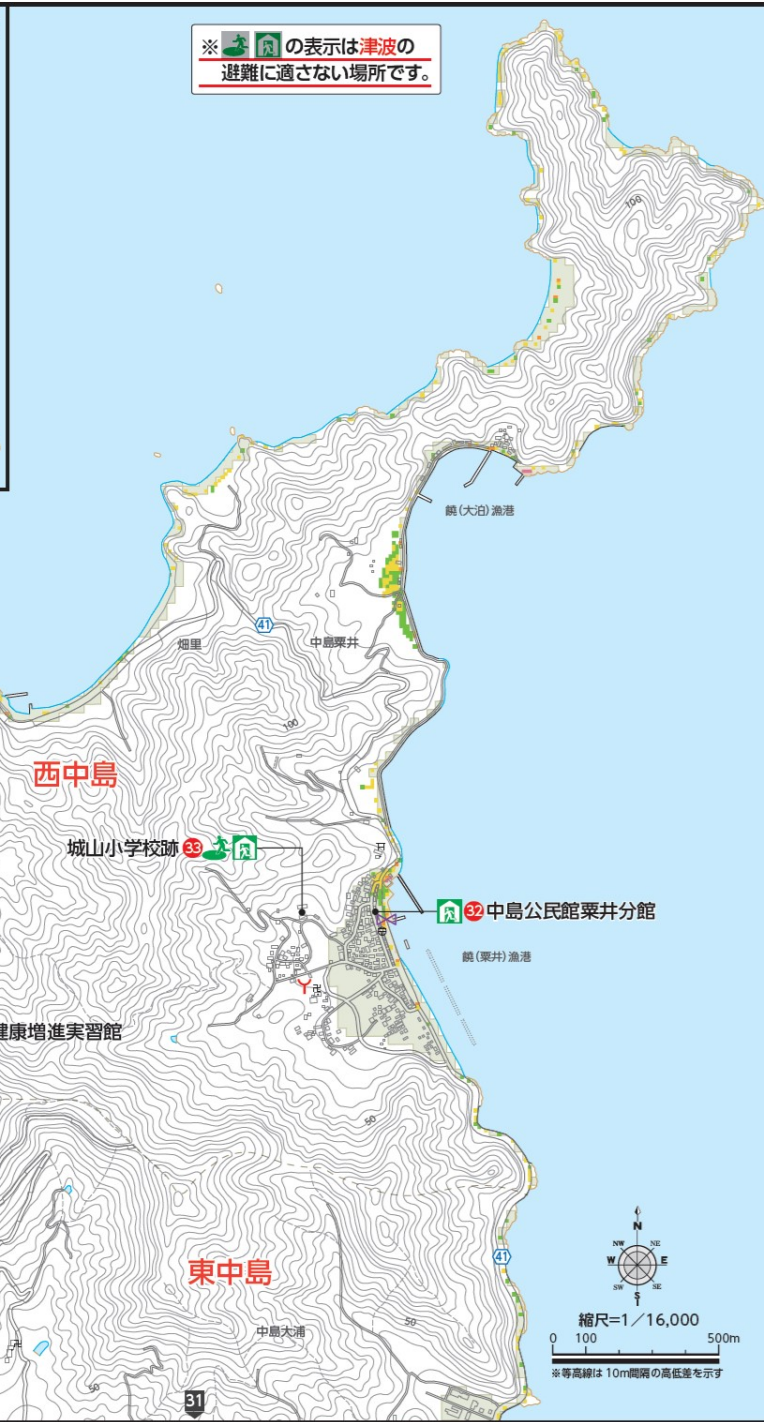
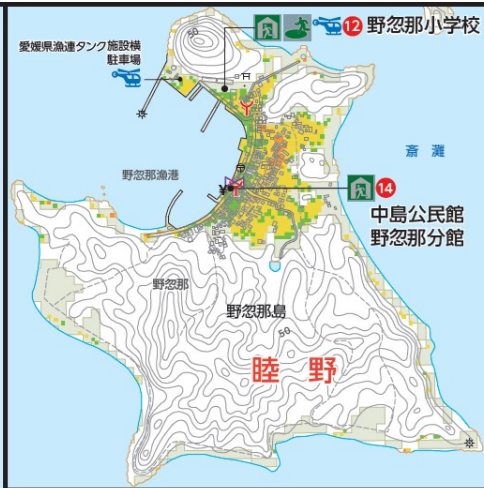
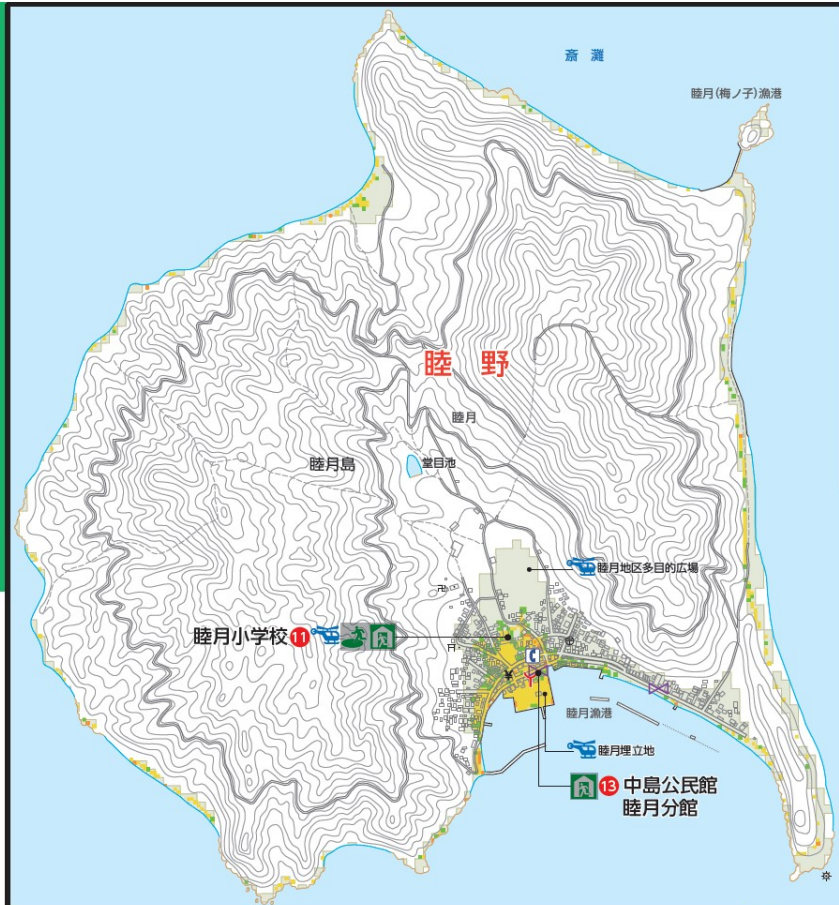
※P22 切図Bへ続く

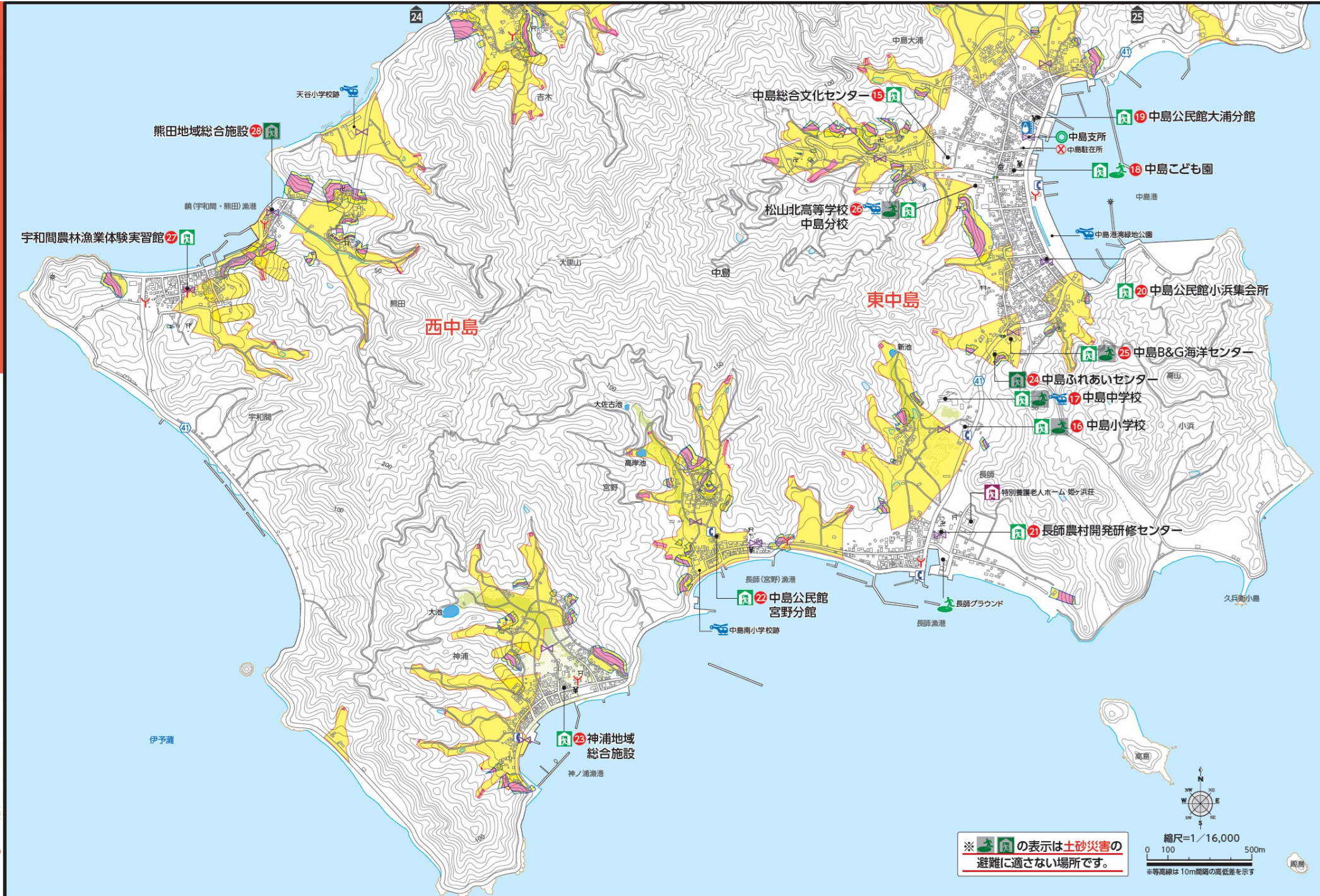
※P22 切図Aへ続く



※ の表示は土砂災害の避難に適さない場所です。

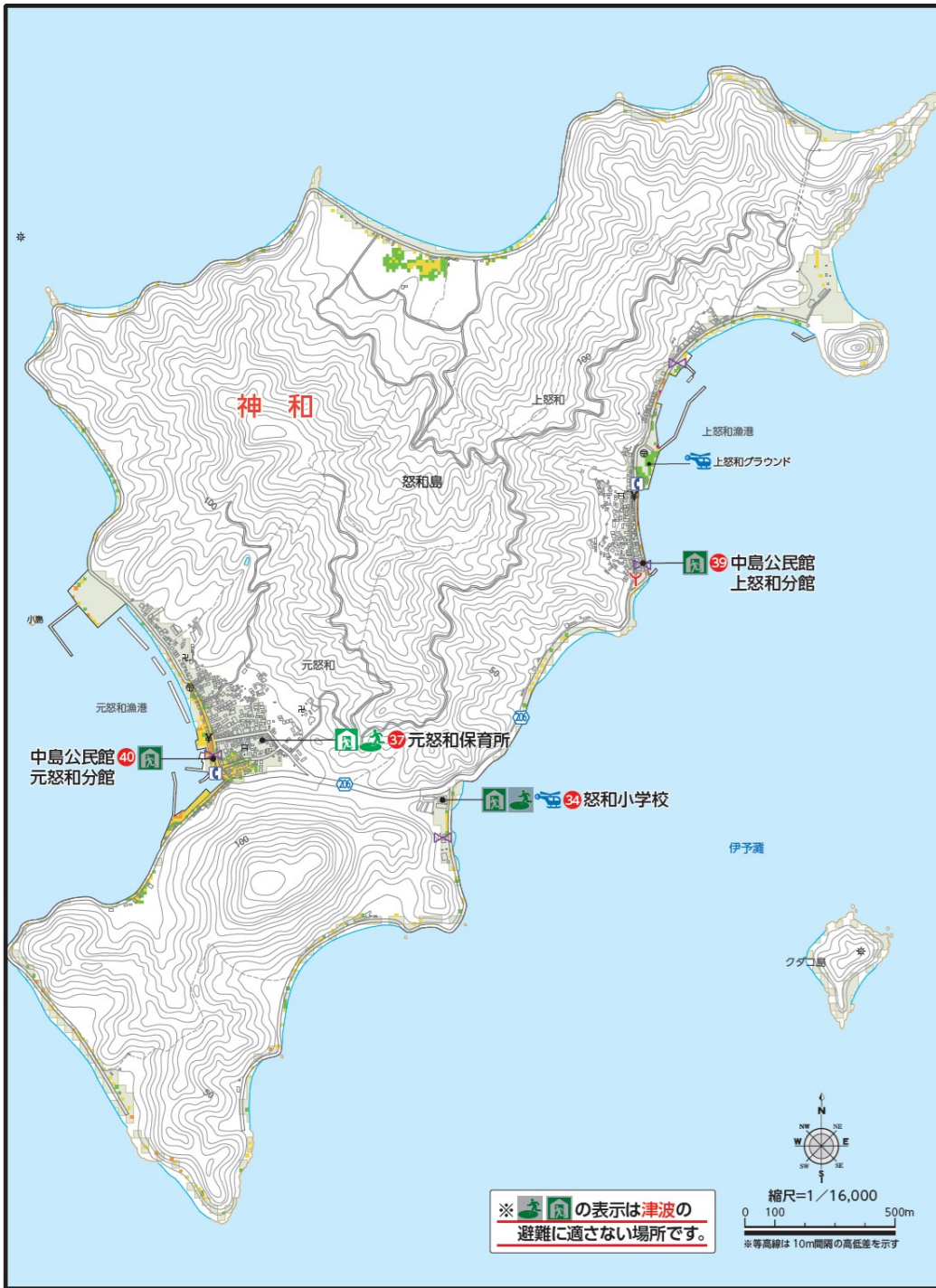






※ 緑色の表示は土砂災害の避難に適さない場所です。

縮尺=1/16,000
0 100 500m
※等高線は10m間隔の高さを示す



※ 避難に適さない場所です。



南海トラフ巨大地震想定震度分布図(ケース重ね合わせ)

出典：平成25年 愛媛県地震被害想定調査結果(第一次報告)

〈震度階級〉

震度6弱

震度5強



指定緊急避難場所



指定避難所

【震度7】

- 耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものがさらに多くなる。
- 耐震性の高い木造建物でも、まれに傾くことがある。
- 耐震性の低い鉄筋コンクリートの建物では、倒れるものが多くなる。



【震度6強】

- はわないと動くことができない。飛ばされることもある。
- 固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが多い。
- 耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものが多い。
- 大きな地割れが生じたり、大規模な地すべりや山体の崩壊が発生することがある。



【震度6弱】

- 立っていることが困難になる。
- 固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることがある。
- 壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。
- 耐震性の低い木造建物は、瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがある。倒れるものもある。



【震度5強】

- 物につかまらなさと歩くことが難しい。
- 棚にある食器類や本で落ちるものが多い。
- 固定していない家具が倒れることがある。
- 補強されていないブロック塀が崩れることがある。



【震度5弱】

- 大半の人が、恐怖を覚え、物につままりたいと感じる。
- 棚にある食器類や本が落ちることがある。
- 固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。

最大クラスの震源域
地震調査委の資料から